



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: とうこ さん からの質問
ウサギはなんでぴょんぴょんとぶの?

ご質問、ありがとうございます。

長い耳に短いしっぽ、ピクピク動く鼻がとても可愛いウサギ。ピョンピョンと跳ねながら移動する姿も特徴的ですよ。今回はそんな特徴的な移動の仕方について解説をしていきたいと思います。

ウサギは草食動物で、野生ではワシやタカなどの肉食の鳥やキツネ、タヌキなどの中型動物に狙われる動



物です。また、大きな牙や爪など、身を守るための武器を持っていないので、敵に襲われた場合は逃げたり、隠れたりすることで身を守ります。

さて、ウサギは襲われた時に、ぴょんぴょんと跳ねて逃げます。飛び跳ねる動きを入れる理由は、ただ走るよりも早く逃げることができ、さらに動きが不規則で複雑になるため、敵の目をくらまし、逃げやすくなるからではないかと考えられています。

ちなみに、当園のふれあい館で飼育しているウサギは、野生に生息している種類ではなく、長い歴史をかけて飼育慣らされた家畜種です。しかしその動きを観察していると、野生のウサギと同じように前方に長く跳んだり、急に方向転換をしたり、垂直方向に高く跳んだり和不規則な動きが見られることもあります。

また、ウサギの足に注目すると、前足に比べて後ろ足が大きく、長くなっています。この後ろ足で地面を力強く蹴ることで、小さな体でも大きく跳ねることができるのです。



ちなみに、当園のふれあい館では毎日10時半から、ウサギとふれあいを行っています。ウサギを近くで観察できるチャンス!ぜひ、お越しください。